

北海道開拓の村



Vol.23(2026.2)

まもなく立春を迎えるが、まだまだ寒い日が続きそう。現在、木製そりやスキー・竹スキーを使った冬の遊びや、昔の除雪道具の体験、角巻・マント・深靴・テッカエシといった昔の防寒具の着用体験などが楽しめる「冬の生活体験」を開催中！（3月中旬まで 体験無料）北海道の寒い冬と昔の暮らしを体験しませんか？



寒くても
体を動かせば
ポツカポカ。
道具は違つても
昔も、今も
雪遊びは
楽しいものです。

イチオシ ichi - oshi

桃の節句 ひな人形

EVENT イベント



© 北海道歴史文化財団

北海道はまだ雪の中ですが、一足早く“春”を感じませんか？

2月21日（土）から、「ひな人形」の展示が始まります。

明治末期から平成までの4つの時代のひな人形を見られる施設はあまりないのでは！？と担当者。

今年の展示数は昨年より2台増え、なんと26台！見ごたえたっぷりです。

入場券売場にて「ひな人形マップ」をお渡しする他、期間中は関連行事もありますので、詳しくはトップページの「お知らせ」をご覧ください。

今月のむらの一品、
逸品！

二
平
皿
その一



© 北海道歴史文化財団

ねえねえ！私、ずいぶん前に、岐阜県の土岐市や多治見市に行って、美濃焼の窯や資料館を巡ってみたの。

したっけ、開拓の村で見たことのあるお皿が「摺絵捻割唐獅子文生盛」という名前で展示されていたの。

すりえねじりわりからじしもんいけもり

「摺絵捻割唐獅子文生盛」

続きを読む

今月のむらだの1品、逸品！

三平皿 その一のつづき

要は、①模様を彫った型紙をあてて絵具を摺りつけていく「摺絵」の技法で、
②緩やかな波線で皿を何分割かに分ける「捻割」を施し、
③そこに「唐獅子」の模様を配置した、
④「生盛」と呼ばれる直径5寸ほどのすこし深めの小皿のことらしいよ。

何だかわかる？

ああ!! これこれ！ 北海道の人びとが「三平皿」って呼んでたお皿… (T)

おしらせ NEWS

市街地群にある体験学習棟は、施設内の水道管の不具合により、現在閉鎖しています。

しかしながら、棟内で行っていた「伝統遊具づくり」と「昔の遊びコーナー」は、旧開拓使札幌本庁舎（ビジターセンター）内に会場を移して開催中。休憩スペースも充分にありますので、見学の際は、ぜひお立ち寄りください！

★2月の伝統遊具づくり

A遊具（幼児・小学校低学年以上対象）：折りびな

B遊具（小学校高学年以上対象）：豆鉄砲



最後までお読みいただきありがとうございました。

(発行：一般財団法人北海道歴史文化財団 2026.2)